Kenren Ibaraki

茨城県生活協同組合連合会 広報誌

けんれんいばらき

特集1 茨城県生活協同組合連合会
第51回通常総会開催

特集2　茨城大学生協
●県生協連の主な活動
●機関会議報告
●県生協連からのお知らせ
●9~11月の主な行事予定

2023
8月

特集 1

茨城県生活協同組合連合会

第51回 通常総会 開催

議案はすべて賛成多数で可決

2023年6月29日、茨城県生活協同組合会第51回通常総会がホテル・ザ・ウエストヒルズ水戸において、代議員53名中、本人出席36名、書面出席17名で開催がされました。

議長は、パルシステム茨城 栃木の茅根代議員が選出され議事が進行されました。

また、茨城県県民生活環境部生活文化課 課長 佐藤隆史様、茨城県農業協同組合中央会 農政・地域対策部 担当部長 笠倉英行様、日本生活協同組合連合会 中央地連事務局長 井爪宏行様にご来賓頂き、茨城県県民生活環境部生活文化課 課長 佐藤隆史様、茨城県農業協同組合中央会 会長 八木岡 努様から祝辞を頂きました。

第1号議案「2022年度の活動報告及び決算報告・剰余金処分（案）」の件
反対0　保留0　賛成52

第2号議案「2023年度方針（案）・予算（案）」の件
反対0　保留0　賛成52

第3号議案「定款の一部変更」の件
反対0　保留0　賛成52

第4号議案「役員補充選任」の件
反対0　保留0　賛成52

県生活文化課 佐藤課長様のご挨拶

茨城県JA中央会　八木岡会長様のご挨拶

鶴長会長の挨拶

議案はすべて賛成多数で可決されました。

2023年度方針は、3つの重点課題が設定され、⑴.多様な社会課題（多様性・貧困・高齢化・社会保障・防災減災・エネルギー・食品ロス・自給率・平和等）の情報共有の機会をつくり連携強化をめざすこと、⑵.会員生協の役職員・組合員理事を中心とした学習や研修会、会員生協の組合員活動交流を実施しコミュニケーションを高めること、⑶.必要な情報発信を量･質とも高め内外に生協の認知を高めることが提案されました。

役員補充選任は、退任される茨城県庁生協 安嶋専務理事、茨城キリスト教学園生協 島田専務理事に変わり、茨城県庁生協 堀江専務理事、茨城キリスト教学園生協 逸見理事の2名を新任理事に迎え、新たな役員体制で事業運営を進めます。

また7名の代議員からは、議案を補強するための発言を頂き、県生協連として受け止め2023年度の活動を強化していきます。

【ご発言者】

鈴木代議員
（いばらきコープ）

飯島代議員
（いばらきコープ）

稲毛代議員
（パルシステム茨城 栃木）

野口代議員
（パルシステム茨城 栃木）

伊東代議員
（生活クラブ生協）

山川代議員
（茨城保健生協）

岩間代議員
（茨城キリスト教学園生協）
※ 代読 茨城県生協連 西山

会場の様子

2023 年役員体制

代表理事会長理事	鶴長　義二	（員外）
副会長理事	青木　恭代	（生活協同組合パルシステム茨城 栃木 代表理事 理事長）
副会長理事	吉田　豊	（茨城県学校生活協同組合　代表理事 理事長）
副会長理事	海老澤　文範	（茨城保健生活協同組合　代表理事 理事長）
副会長理事	柴﨑　敏男	（いばらきコープ生活協同組合　代表理事 理事長）
副会長理事（新任）	堀江　満	（茨城県庁生活協同組合　専務理事）
代表理事専務理事	井坂　寛	（員外）
理　　事	伊藤　博久	（常総生活協同組合　代表理事 専務理事）
理　　事	大平　隆史	（生活クラブ生活協同組合　代表理事 専務理事）
理　　事	小山　浩明	（茨城大学生活協同組合　理事）
理　　事（新任）	逸見　恵介	（茨城キリスト教学園生活協同組合　理事）
理　　事	古山　均	（医療福祉生活協同組合いばらき　代表理事 理事長）
理　　事	阿部　正浩	（茨城県民生活協同組合　常務理事）
理　　事	鹿野　智子	（茨城県勤労者共済生活協同組合　専務理事）
理　　事	神生　賢一	（やさと農業協同組合　代表理事 組合長）
監　　事	鴨志田　和宏	（いばらきコープ生活協同組合　常勤監事）
監　　事	山川　晴美	（生活協同組合パルシステム茨城 栃木　監事）
監　　事	尾又　亮平	（茨城県庁生活協同組合　常務理事）

新任理事自己紹介

副会長理事
堀江　満
茨城県庁生協専務理事

この度、副会長理事に選任いただきました県庁生協の堀江です。

私共、県庁生協は、県職員を組合員とする規模の小さい組織ですが、県が推進している環境保全や健康づくり、地産地消その他の施策への協力にも取り組んでいます。

県生協連におかれては、会員生協との連携の下、様々な社会課題の解決に向けて幅広くチャレンジされており、一会員として大変ありがたく感じています。

今後更に、会員同士が様々な場面で、互いに協力し合える関係づくりが進むことに期待しています。

甚だ微力でありますが、何とかお役に立てますよう務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

理事
逸見　恵介
茨城キリスト教学園生活協同組合　理事
茨城大学生活協同組合　専務理事

大学生協は教科書、学生必携パソコン、各種教材、研究室用の情報機器、また教習所の斡旋、資格取得、就職活動のサポート、さらに学生時代健康に過ごせるよう食事の提供、共済などさまざまな商品、サービスの提供で大学生活をサポートしています。

これからの社会を作っていく学生を、あたらしい価値観、需要にも対応し、組合員自身の組織としてこれからもサポート、助け合いの活動を続けていきます。大学生協で働く魅力の一つと私が思っているのは、組合員の存在が近い、顔が見える関係だということです。近い存在なので不安、困りごと、喜び、成長が伝わってきます。人生においても大学時代の4年間はとても大切な時間です。そこで得た先輩組合員の貴重な体験を次の世代に伝えていくことも我々の役割だと思っています。

会員紹介 1 茨城大学生活協同組合

時代の変化に柔軟に 大学生活を支え続ける 茨城大学生協の取り組み

オープン後、大盛況のSHIEN BAKERY。

インタビュー interview

逸見 恵介
茨城大学生活協同組合 専務理事

小山 浩明
茨城大学生活協同組合 専務補佐

その役割と使命、より良い大学生活のために

2講時が終わり昼休みになると、茨城大学水戸キャンパスの大学会館（通称・茨苑会館）に次々と学生たちがやってきて行列を作ります。お目当ては、会館の外まで美味しそうな香りが漂う、種類豊富な焼きたてパン。新たな憩いの場として、今年4月にオープンした「SHIEN BAKERY」が連日賑わいを見せています。

運営を手掛けるのは、設立から半世紀以上にわたり学生や教職員の「大学生活」を支えてきた茨城大学生活協同組合（茨大生協）です。その設立は昭和42年（1967）、学生運動が盛んだった60年代のこと。学生や教職員の福利厚生を担うべく、全国で大学生協立ち上げの波が起きていましたが、茨城大学では一部学内団体の激しい対立により学内は混乱を極め、設立までに多くの時間と労力を要しました。当時は、高度経済成長やオイルショックによる物価高に加え、十分な学食サービスや購買体制が整っていなかったため、学生・教職員の「食」「学び・研究」を支え、「生活」を守ることに重きを置いていました。特に、再販制度の適用除外による書籍の1割引販売は、画期的な制度でした。昭和62年（1987）には、別運営だった日立キャンパスの工学部生協と合併し、茨大生協として一つの組織になりました。その後、阿見キャンパスにも生協のショップと食堂が入り、3キャンパスすべての足並みがそろい、今日に至ります。

組合員の「より良い大学生活」を実現するために、時代や生活スタイルの変化、ニーズに合わせて、次第に支援の幅を広げていった茨大生協。食堂・コンビニショップ・書籍部の運営のほか、受験生・新入生応援としてパソコン販売や履修相談、住居紹介、進路支援の一環で公務員講座、運転免許取得サポート、教職員の研究を支えるための物品調達などを行っており、事業は多岐にわたります。

中でも、組合員同士の助け合い制度の「学生総合共済」では、コロナ禍で急増している学生の心の不調へ早期に対応してきました。月5～10件ほどの給付金申請があり、

今も給付は続いていると言います。

令和2年（2020）の春以降、大学生活が一変し、経済的、精神的に大きな負担を強いられてきた学生たちに対して、大学生協として何ができるのかー。茨大生協はこの3年間、生協内の学生組織である学生委員会とともに、さまざまな支援事業に取り組んできました。

コロナ禍での支援事業から回復への取り組み

令和2年度は新学期から夏まで休講になり、大学構内から学生の姿が消える事態となりました。そんな中、学生委員会は早い段階からオンラインでの入学後相談会や新入生交流会といった学生同士のつながりの場を作り、発信を続けてきました。大学に人が戻ってきた秋以降は、これまで営業がままならず経営が厳しくなった食堂、店舗で、スイーツバイキングやガラポンなどを企画し、販売促進を図るとともに利用客を楽しませました。

入学後すぐに自宅待機となり、授業はオンラインの画面越し。思い描いていた大学生活とは程遠い日々を送っていた新入生にとって、より良い大学生活を目指して行動し、不安や悩みに寄り添ってくれた学生委員の存在はどれだけ心強く、輝いて見えたことでしょう。これまで40人ほどだった委員数はコロナ後に急増し、現在は約190人に。新入生たちの学生委員会への期待や組織としての魅力が、この数字に現れています。

増設された食堂エリア。プロジェクターが設置され、多目的用途に使用可能。

一方、茨大生協としては、茨城県生活協同組合連合会（県生協連）の全面協力を得て、経済的に逼迫した学生へ全国に先駆けて「食の支援」を行いました。茨大生に限らず県内大学・専門学校に在籍する一人暮らしの学生を対象に、支援物資を宅配で発送。想定を大きく上回る、1,600人以上から希望があり、3か月連続で計3回送りました。その後も半期に一度のペースで食の支援を行い、

食堂以外にも、書籍部に文具や食品等を扱うコンビニショップ、運転免許取得や旅行等を扱うサービスショップなどがあり、利用する学生たちで賑わう。

JA常陸の協力で常陸秋そばを食堂で振る舞ったり、自治体が備蓄している非常食の寄付を受けて配布するなどの活動を続けてきました。

さらに「学び」への支援では、生協店舗での教科書購入が困難な状況になったため、これまでやっていなかった「通販」に着手。大学生協グループで連携し、早急に書籍通販の仕組みを整えました。

食料品の配布から始まった支援は、コロナ禍からの回復期にある今、心の支援を含めて次の段階へ来ていると言います。ニーズへのアンテナが高く、いち早く行動してきた茨大生協だからこそできる支援を、これからも続けていく考えです。

冒頭で紹介した「SHIEN BAKERY」も回復への取り組みの一つです。館内のオーブンで毎日700から800個焼き上げるパンは、4、5月はほぼ完売し、1日150人の想定客に対して200人以上が訪れる盛況ぶりです。

コロナの影響で茨苑会館食堂が閉まり、長らく活気が失われていたエリアに友と語り合い交流できる場が生まれたことは、当たり前のようでかけがえのない大学での日常を取り戻す一助になるはずです。コロナ禍を経験して、茨大生協が担う役割は、ますます大きなものとなっています。

SHIEN BAKERYは学生たちの交流の場としても機能。

県生協連の主な活動

3月

3/21

ピースアクション実行委員会と
茨城大学佐々木ゼミ生の共同制作
「茨城県の戦跡」DVD完成報告会

4/22

2023ピースアクションin春
筑波海軍航空隊記念館を会場に
開催

6月

6/24

茨城県環境保全会議、いばらきチャレンジが共催する「涸沼クリーンアップ作戦」

7月

7/14

県消費者団体連絡会主催、茨城県・茨城県生協連共催
「第47回茨城県消費者大会」開催

4月

4/7

茨城県生協連50周年記念
親睦ゴルフコンペ 開催

4/27

福島第一原発廃炉作業見学会

6/29

茨城県生活協同組合連合会
第51回通常総会 開催

7/12-14

フードバンク茨城主催、協同組合ネットいばらき、茨城県生協連共催「夏子ども応援プロジェクト（食の支援）」で392世帯に食の支援

4/18

茨城大学「協同組合論」授業
（15回）開講

5月

5/22

茨城県・県消費者団体連絡会・
茨城県生協連共催「2023茨城県消費者フォーラム」開催

機関会議報告

第1回理事会

開催日時：2023年6月29日（木）　12時00分～12時20分
開催場所：ホテル・ザ・ウェストヒルズ水戸
出席：理事14名、監事３名、事務局1名
議事の経過と結果：
最初に理事鶴長義二は、自ら議長にあたる旨提案し、出席理事に諮った。出席理事は、全員が承認した。その後、理事の出席状況を確認し、本理事会が成立していることを宣言し、議事に入った。

【議決事項】

(1). 副会長理事の補充選任の件
　県庁生協 堀江満氏が選任された。
(2). 副会長理事の職務順位の件
　1位～5位の職務順位が承認された。
(3). 専務理事の役員報酬の件
　提案され承認された。

第2回理事会

開催日時：2023年7月19日（水）13時30分～15時10分
開催場所：茨城県JA本館4階　第一会議
出席：理事14名、監事3名、オブザーバー1名、事務局1名
議事の経過と結果：
最初に理事鶴長義二は、自ら議長にあたる旨提案し、出席理事に諮った。出席理事は、全員が承認した。その後、理事の出席状況を確認し、本理事会が成立していることを宣言し、議事に入った。

【議決事項】

(1). 2023年度理事会日程と2024年第52回通常総会日程の件
　第3回理事会はいばらきコープ日立店見学を兼ねた開催、第6回理事会個別調整、また、第52回通常総会は2024年6月20日（木）ホテル・ザ・ウエストヒルズ・水戸で開催が承認された。

【協議事項】

(1). 茨城県生協連災害対策書（案）の件
　次回9月理事会での議決に向け意見要望等を求めることとした。

県生協連からのお知らせ

01 いばらきまるごと健康づくり 2023健康チャレンジ

○期　間　2023年 9月25日(月)～12月22日(金)まで
○申込締切　11月24日(金)まで
5つのコースから自分に合ったコースを選んで、
30日間健康づくりにチャレンジしませんか。
健康習慣づくりが生活習慣病のリスクを引き下げます。
参加者には先着5000名に歯ブラシを記念品で贈呈。
○申込み　申込みは下記のQRコードからお申込みください。
■QR(二次元バーコード)

02 第5回協同組合の「地域共生フォーラム」開催（主催 日本協同組合連携機構(JCA)）
みんなで幸せに暮らせるまちづくり
～協同組合らしいケアを考える～

○日　時　2023年 10月14日(土)　時間／13:00～16:30
○会　場　オンライン参加／ZOOM
会場参加／茨城県JA会館　水戸市梅香1丁目-4
○対　象　どなたでも参加できます
○募集人数　100名
○参加費　無料
○申込み　9月29日(金)までに下記URLまたはQRコードからお申込みください。
■URL　https://forms.gle/L2wetXd3qYyYa6ut9
■QR(二次元バーコード)

03 茨城県ユニセフ協会 ラブウォーク in 日立（主催 unicef）

ウォーキングなどで快い汗をかきながら、ユニセフの学びと募金を通じて
世界の子ども達の支援をする取り組みがユニセフ・ラブウォークです。

○日　時　2023年9月17日(日)　受付／9:30～　10:00～12:00［荒天中止］
○会　場　赤羽緑地 自然観察ふれあい公園　(日立市久慈町5丁目地内)
○対　象　どなたでも参加できます
○募集人数　50人
○参加費　参加費1人300円(3歳以上)　保険代・ユニセフ募金含む
○申込み　茨城県ユニセフ協会　　水戸市梅香1-5-5茨城県ＪＡ会館分館５Ｆ
TEL.029-224-3020　　Email.ozawa @ ibaraki kenren.coop
■申込みURL　https://ws.formzu.net/fgen/S642943036/
■QR(二次元バーコード)

県生協連の活動予定

茨城県生協連
9〜11月の
主な行事予定

2023年 9月	4日（月） 第5回組合員活動責任者会議 / 第6回ピースアクション実行委員会
	20日（水） 第3回理事会 / 日本生協連中央地連県連活動交流会
	26日（火） 第2回日本生協連中央地連運営員会
	29日（金） 職域委員会
10月	2日（月） 第6回組合員活動責任者会議 / 第7回ピースアクション実行委員会
	MCA無線訓練
	18日（水） 第2回会長副会長会
	27日（水） 関東行政生協連絡会
11月	6日（月） 第7回組合員活動責任者会議 / 第8回ピースアクション実行委員会
	11日（土） いばらきみまもりあいプロジェクト「つどい」
	15日（水） 第4回理事会 / 茨城県生活文化課との懇談会
	21日（火） 第3回 日本生協連中央地連運営員会 / 第2回県連活動推進会議

茨城県

9月は「高齢者悪質商法被害防止月間」です！

高齢者は「お金」「健康」「孤独」の3つの大きな不安を持っているといわれています。
悪質業者は言葉巧みにこれらの不安をあおり、親切にして信用させ、大切な財産を狙っています。

高齢者からの相談事例

大手建設会社Aを名乗る者から、「老人介護施設の入居権を譲ってもらえないか」と電話があり、入居しないので譲ったところ、別の会社から「あなたの名義で他県の人が入居できることになり、一旦1,000万円を振り込んでほしい。後日返金する。」という電話が入った。「そのような高額な支払いはできない」と断ったが「500万円だけでも協力してもらえないか」と重ねて振込を依頼された。

アドバイス

・「あなたは入居権を持っている」「権利を譲って」などと持ちかけてくるのは詐欺です。留守番電話機能や発信者番号表示機能を活用し、心当たりのない電話には出ないようにしましょう。

・お金は絶対に支払わず、すぐに警察、家族・友人、消費生活センター等に相談しましょう。

周囲の方へ | 高齢者の消費者トラブルを防ぐには周囲の方の見守りが必要です。高齢者に異変がないか見守り、異変に気づいたら警察や消費生活センターに相談してください。

消費者ホットライン ☎**188**（いやや）へ！

お近くの消費生活相談窓口、または国民生活センターをご案内します。

茨城県消費生活センター　ホームページは
いばらき消費生活なび　検索

発　行　茨城県生活協同組合連合会
〒310-0022　水戸市梅香1丁目5番5号　茨城県JA会館分館5階　TEL.029-226-8487　FAX.029-224-1842
URL.http://www.ibaraki-kenren.coop/index.html　E-mail:ibkenren@ibaraki-kenren.coop